

2009年(平成21年)12月12日 土曜日

エタノール混合ガソリン

1リットルからの少量製造OK

コンティグ・アイ

環境ベンチャー、コンティグ・アイ(本社岐阜市正木631の7、鈴木繁三社長)は、ガソリンにエタノールを3%混合した燃料「E3ガソリン」を少量から製造できる装置の販売を始めた。1〜20リットルのE3ガソリンの製造が可能で、タッチパネル入力で操作性を向上させた。E3ガソリンを製造するために必要な登録申請もサポートし、初年度10台の販売をめざす。

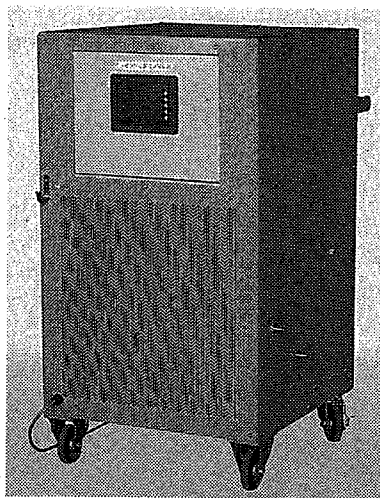
(岐阜)

装置価格も半額に

水処理設備 企業と開発 登録申請も支援

同装置は、水処理プラントメーカーの田中工業所(本社大垣市)と共同で開発した。価格は250万円。20リットル以下のE3ガソリン製造装置は従来、法の基準を満たすために流量計や制御装置に高い精度が求められ、価格も500万円近くと高額だった。これを半額程度に抑えた。

回のE3ガソリン製造装置は、このプラントで製造したエタノールの利用法の一つとして提案していく考えだ。



小型E3ガソリン製造装置

コンティグ・アイは、雑草などセルロース系バイオマスからバイオエタノールを製造する技術を持ち、「バイオエタノール製造プラント」も開発している。今